



菅田地区

- ① 集会施設、文化施設
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



地区概要

区の北西部の起伏のある丘の上にある地区で、区域の南側(概ね1/2)は市街化調整区域となっており、農地や樹林地が多く残っています。

戸建て住宅のほか、西菅田団地や菅田ハイツ等の集合住宅もみられます。また、区内でも高齢者施設が多い地区です。

地区基礎データ

●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

	菅田地区	神奈川区
総人口	16,402 人	232,788 人
0～14歳	2,116 人(12.9%)	27,667 人(11.9%)
15～64歳	9,760 人(59.5%)	155,501 人(66.8%)
65歳～	4,526 人(27.6%)	49,620 人(21.3%)
総世帯数	7,610 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	2.16 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	1,286 世帯(16.9%)	15,662 世帯(13.2%)

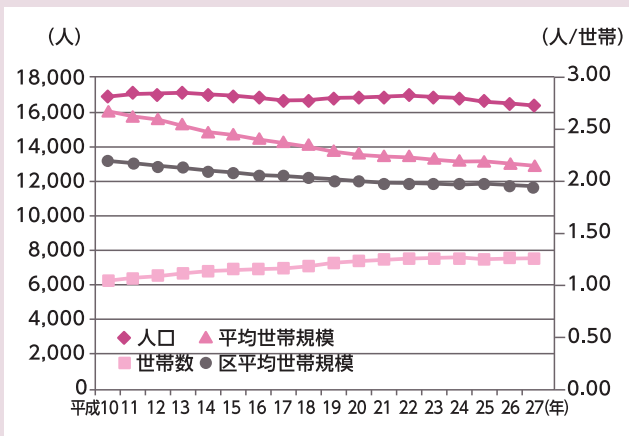
人口は緩やかに減少し、世帯数は安定した状態が続いています。

平均世帯規模は緩やかに小さくなってきていますが、区の平均より大きい状態が続いています。

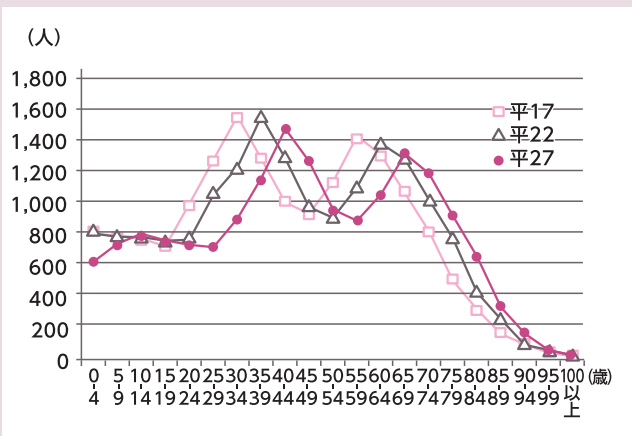
転入による年齢別人口の変化が少ないことが特徴です。

区の平均と比較して、高齢者の比率や高齢で一人暮らしの世帯の比率が高くなっています。

●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



●年齢5歳別人口の動向



*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

助け合えるまち 交流のあるまち 菅田

これまでの取組とこれからのに向けて

第2期地域福祉保健計画の重点課題である「隣近所と顔見知りになり日常的に助け合える関係づくり」への取組を話し合う場として、「拡大支え合い連絡会」を開催しています。連絡会では、「高齢者支援部会」「子育て支援部会」「住民支えあい部会」を立ち上げ、具体的な取組を進めてきました。

各町会では、さまざまな行事を通して、顔が見える関係づくりに取り組んできました。

今後は、これまで行ってきた活動・行事をさらに推進していくことが求められます。また、地域ケアプラザ、地区センター、学校・福祉施設など、地域の社会資源と連携しながら、多世代が参加できる機会と場を増やし、その機会を通して、新たな担い手の発掘・育成・活躍の場を提供することが求められています。

「高齢者支援部会」で
作成した認知症高齢者支援マップ



現在、第2版!

目標1 地域で助け合える関係づくりを進めよう

【取組】

- ◆ひとり暮らし高齢者の定期訪問や緊急時の安心ノートの活用により、認知症、ひとり暮らし、マンション居住などで孤立しがちな高齢者の把握と見守りを進めていく
- ◆認知症や障害がある人など、地域で支援が必要な人を見守り、支えあう仕組みをつくっていく
- ◆「親子のたまり場」をつくるなど、子どもの見守りを地域ぐるみで行っていく
- ◆地域の要援護者の把握と支援に取り組んでいく
- ◆「あんしんボランティア」や「ふれあい訪問活動」など地域での活動を広げていく
- ◆自治会、地区センター、地域ケアプラザ、民生委員などそれぞれが持つ情報の見える化、共有化を図っていく



餅つき大会



あんしんボランティア

目標2 地域をあげてのふれあい・交流の機会を増やそう

【取組】

- ◆定期清掃、防犯パトロールなどの活動、高齢者の交流のための食事会やサロンの開催、子どもフェスティバル、青少年育成キャンプ大会、大運動会など楽しく参加できる行事の開催を継続して行っていく
- ◆「健康マラソン」「ラジオ体操」「ウォークラリー」など健康づくりにもつながる行事への参加を通して、地域での交流の機会を増やしていく
- ◆高齢者が多い自治会と若い世代が多い自治会との相互交流を進めていく
- ◆地域の誰もが集える「あおぞらサロン」など「居場所づくり」を進めていく



サロン活動



健康マラソン